

朝顔の蔓

金子みすゞ

垣がひくうて
朝顔は、
どこかにすがると
さがしてる
西もひがしも
みんなみて、
さがしあぐねて
かんがえる。
それでも
お日さまこいしゅうて、
きょうも一寸
また伸びる。
伸びろ、朝顔、
まっすぐに、
納屋のひさが
もう近い。

毎年、甲子園 高校野球の選手たちの一生懸命な姿には胸が熱くなります。

特に今年は、熊本地震の一週間後に開幕。選手宣誓から始まりました。

選手宣誓の中で、『人生には幾多の困難が待ち受けています。人々が明日へ踏み出そうと歩みを進める度に、自然は何度も、何度も大きな試練を与えてきます。しかし、困難は下を向く要因ではなく、前を向き、仲間とともに支え合い、道を切り開く大きな原動力である。私たちはそう信じています。』との八王子実践高校の選手のこたばにととても感動しました。試合前には相手チームが熊本にエールをおくり、一試合一試合、とてもいい試合でした。地元でなくても、頑張っている姿を見ると、どちらのチームも応援したくなります。有明の選手はベスト8で敗れた時に、応援してもらって楽しくプレイできたと言っていました。被災された方々も選手たちを応援しながら力をもらい、こちらも応援されているようだと話している方もおられ、お互い、応援によって頑張る力になっていることを改めて感じました。

多くの感動を与えてもらい、考えるこの夏の甲子園でした。

今月選んだ詩は「朝顔の蔓(つる)」

朝顔は蔓性の植物で、成長すると葉っぱを増やしながら蔓を伸ばしていくそうです。

蔓は一定の方向に巻き付いて、支柱や他のものに沿って上の方に成長します。

みすゞさんの朝顔は、垣根が低いので、どこに伸びていこうかと探して迷っているようです。

育てている朝顔には支柱を立ててあげます。

自然の中で咲いていると、すぐる先は朝顔が自分で見つけなければなりません。

朝顔は、自分で探して、見て、考えて、がんばっています。

そんな朝顔を見ていると、ついつい「がんばれ！」と こちらも応援したくなります。



応援には『声を出して応援する』『歓声をあげる』『継続的に支援をすること』『助けること』『背中をそっと押す』…など、さまざまな応援があります。

これからも被災された方々を継続的に応援していきたいと思います。

2学期のはじまりです。

日々の生活の中で、子どもたちをたくさん応援していきましょう…